

# 「バイク開発の神様」の苦労は

駒ヶ根工高

19日に山中勲さん講演会



山中さんが開発に携わったバイク  
を前にする実行委員会の生徒たち

駒ヶ根工業高校（駒ヶ根市）で19日、ホンダの研究開発機関、本田技術研究所でバイクの開発に携わった山中勲さん（72）＝浜松市＝の講演会が開かれる。どのようにして設計者になったかや開発したモデル、夢を持つ大切さなどを話す。機械科2、3年の有志13人による実行委員会がパンフレットやポスターを作って準備を進めている。一般の参加も募っている。

山中さんは主に1970～90年代に競技用の「RCB1000」や一般用の市販モデル「CB」「VF」「シリーズなど、数々のバイクを世に送り出した。「バイク開発

## 機械科の生徒有志が実行委

の神様のような人」と話す機械科の林厚志教諭（50）が山中さんに講演を打診。バイクに関心のある生徒たちが実行委を組織した。

実行委員長の3年中村陸さん（17）は「設計で大変だったことや、やりがいを聞いてみたい」。林教諭は「たくさんの人に愛される二輪を生み出してきた苦労や、それをどう乗り越えたか。就職後などに同じような場面にあつかるかもしれない生徒たちに聞いてほしい」と話している。

講演会は、地域の歴史や文化、産業などを学んで故郷に愛着を持つてもらおう、と具教委が県立高校に導入した「信州学」として開く。山中さんは県内を何度かツーリングで訪れているといい、県外から見た信州の魅力も話す。同校体育館で午後1時40分から。無料。